



(シンボルマークと標語)

ボランティアセンター だより

問 合 せ ・ 申 込 み 等

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)
TEL 029-309-1011 FAX 029-309-1139
http://www.mito-syakyo.or.jp
月曜日～金曜日 9:30～16:30



育てよう みんなの幸せ 思いやり

これからの災害ボランティア活動とICT活用

近年、毎年のように全国的に地震、台風、豪雨など自然災害が多発しており、茨城県各地においても令和元年10月の台風19号により、大きな被害が発生したことは記憶に新しいところです。この災害に際し、ボランティア活動を円滑に進めるための災害ボランティアセンター(以下「災ボラ」という。)を設置しましたが、運営当初は想定よりもボランティアの皆さんが多く駆けつけたこともあり、課題も多く残りました。

また、今後は新型コロナウイルス感染症の影響を想定した災ボラの運営を検討しなければなりません。実際にコロナ禍で被災した地域では、ボランティアの受け入れを県内や市内に限定した活動が報告されています。

アプリで災ボラ運営～ワンチーム茨城で災害に備える！

このような状況において、県社協は被災者への効果的な支援を行えるようにすることはもとより、限られた人員で効率的に災ボラを運営しなければならないと考え、昨年から県社協、茨城県、都内のIT企業の3者で協議を重ね、災ボラの運営におけるボランティアの「事前登録」、「当日受付」、「被災地のニーズ把握」、「活動報告」など、さまざまな情報を集約・共有化できるアプリ(ICTシステム)「いばらき型災害ボランティア運営支援システム(通称:アイボス)」を開発しました。

現在は、県社協を中心に県内の市町村社協の担当職員が、災ボラ運営時スムーズにアプリの操作とその説明ができるように研修を行っています。被災した方々が、一日でも早く日常を取り戻せるための“被災地復興に欠かせない必須アイテム”になるよう、今まで以上に自治体や県内市町村社協などと連携を図ってきたいと思います。



実際にシステムを操作する
研修の様子

「今こそ広げよう!ボランティアの輪」～私たちにできること～

10月17日(日)に開催予定のイベント「第20回ボランティアまつり in ミオス」が新型コロナウイルス感染拡大の影響により昨年に引き続き、中止となってしまいました。主催者である水戸市ボランティア連絡協議会は、イベントの代替えとして、コロナ禍による生活困窮世帯やひとり親世帯への支援を行う「今こそ広げよう!ボランティアの輪プロジェクト」を立ち上げました。

呼びかけに応じた各ボランティアサークルからは、お米や調味料、レトルト食品、洗剤など多くの食料や物資が集まり、その後フードバンクやNPO法人などに届けられました。また、集まった支援金は水戸市共同募金委員会をとおして、茨城県共同募金会に寄付されました。

